

Edible Park 茅ヶ崎

～農と食をつなぐテーマパーク～



自己紹介

長谷 享 (ながたに たかし)

半農半X。

農家であり好きなことを生業にしながら日々「遊びを仕事に」を実践中。

30代後半までは企業で日本全国世界各国を飛び回りビジネスの世界にのめり込む。

そんな中ふと立ち止まり仕事中心の人生に虚無感を覚えた時、2011年3月11日の大震災を経験する。

「人生は一度きり」。このかけがえのない人生を大切に生きようと、すぐに退社を決意。その後の一年間は旅をしたり仲間と語り尽くしながら、本来の自分の在り方、生き方を探求。そして「食」と「農」の大切さを感じ、農を実践しながら茅ヶ崎でカフェ「Juice & Cafe Bar TONY'S」を開業。

店を通して様々な人や世界と出会い、ここで人生観が大きく変わり「農」を中心とした古くて新しいライフスタイル「半農半X」を目指し、本格的に農を実践するために飲食店を閉じ農業を始める。

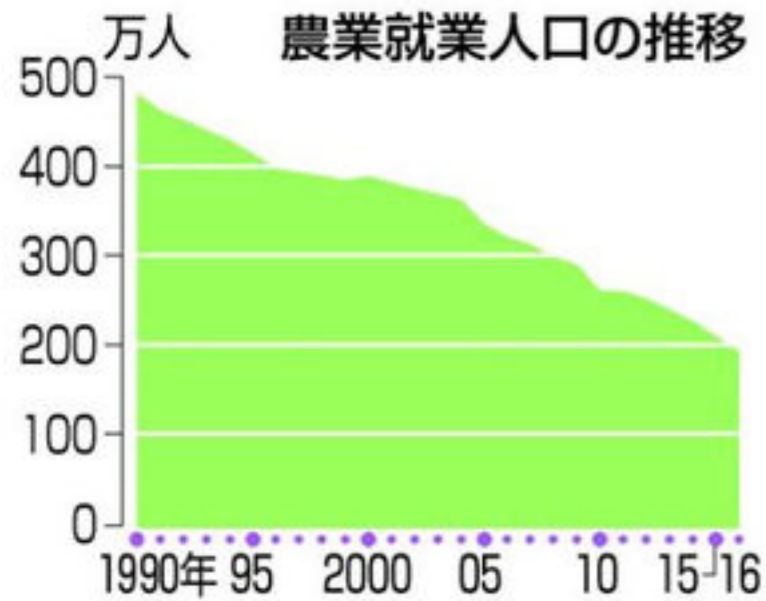
現在は無農薬野菜を作りながら、Xとして「重ね煮」を使った料理教室や料理コラボイベントなど旅をしながら楽しく愉快地に実践中。



ちょっと考えてみませんか？～農や食の問題～

- ・ 環境破壊 なぜ？
- ・ 健康問題 なに？ なぜ？
- ・ 農業人口の問題、高齢化の問題 なに？
- ・ 種の問題 なに？
- ・ フードマイレージ なに？
- ・ 腐る野菜、溶ける野菜 なぜ？
- ・ 2022年問題
- ・ etc…

参考資料：農業人口推移



出典 www.tokyo-np.co.jp

農業就業人口及び基幹的農業従事者数

単位：万人、歳

	平成22年	27年	28年	29年 (概数值)
農業就業人口	260.6	209.7	192.2	181.6
うち女性	130.0	100.9	90.0	84.9
うち65歳以上	160.5	133.1	125.4	120.7
平均年齢	65.8	66.4	66.8	...
基幹的農業従事者	205.1	175.4	158.6	150.7
うち女性	90.3	74.9	65.6	61.9
うち65歳以上	125.3	113.2	103.1	100.1
平均年齢	66.1	67.0	66.8	...

資料：農林業センサス、農業構造動態調査（農林水産省統計部）

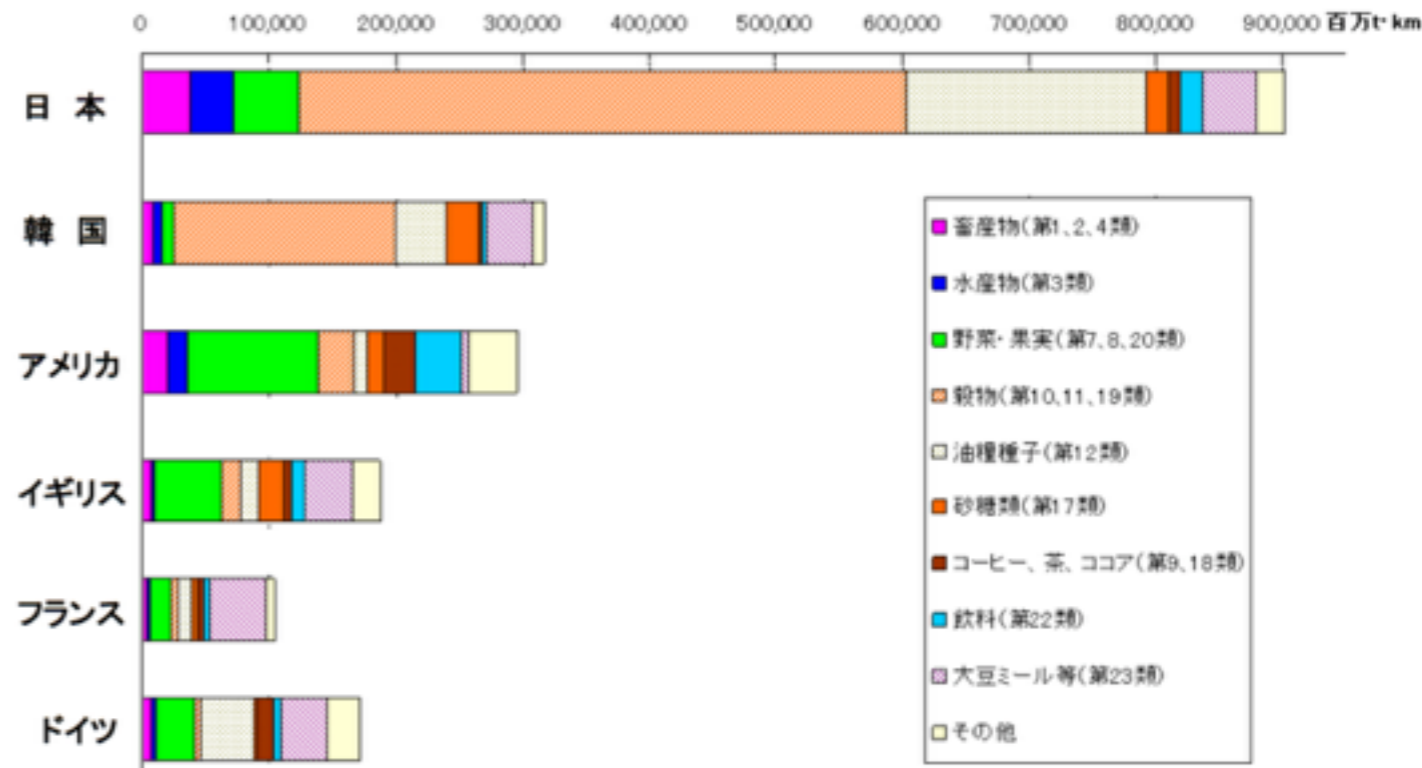
参考資料：フードマイレージ

「フード・マイレージ」とは

- 「食料の総輸送量・距離」
- 考え方は単純
：食料の輸送量に輸送距離を掛け合わせた指標。

単位:t・km(トン・キロメートル)

輸入食料に係るフード・マイレージの比較(品目別)



*北陸農政局より抜粋

日本はフードマイレージ、農薬使用量共にダントツ世界No.1

2022年問題

Q.生産緑地の「2022年問題」とは？

- ・生産緑地法は1992年に成立



指定後30年で解除できる

- ・全体の約8割が2022年に解除される

→ 生産緑地の指定を解除された農地が
宅地として大量に不動産市場に流れ込む問題



What's Edible Park 茅ヶ崎??

- ◆ 無農薬野菜を作ろう！土作りから野菜の育て方まで実践を通して学ぼう
- ◆ 野菜だけではなく、お米や麦、大豆などの穀物にハーブ、そして果物も！？
- ◆ 自分だけの畑（専有区）とみんなで創る畑（共有区）
- ◆ 種の循環（固定種、自家採種）
- ◆ とれた野菜を自分たちで食べよう！収穫祭、みんなで調理、パーティ、などなど…
- ◆ 食育（料理教室、講習会、味噌作り、などなど…）
- ◆ みんなで作ろうDIY実践！（小屋、コンポスト、トイレ、窯、クッカー、などなど…）
- ◆ 人と人がつながるコミュニティの場（イベント、交流会、勉強会、などなど…）
- ◆ 異業種間コラボレーション（例：キッチンカー、ハンモック、などなど…）
- ◆ みんなで育てる実践の場所（みなさんのアイデアでつくっていきます）
- ◆ etc…

Edible Park 茅ヶ崎

～循環する3つの柱～

たんじゅん農法

自然に優しい循環型農業の実践
土を育てて無肥料・無農薬の野菜作り
自然から知恵を授かりいかしていく
人は微生物のお世話がかり

パーマカルチャー

持続可能な農的暮らし（農と文化）
個々が生きる力を養う（そして役割分担）
自然が本来持っている多様性、豊かな生産性を取り戻す
人の生活も精神的に豊かで持続可能な環境や社会を
世界中を食べれる森へ

コミュニティ

ヒトとヒトがつながりめぐりあう
共に学べる
新しいモノ・コトがうまれる
多様性を認めあえ広がる
食で美味しく広がる

本来日本では当たり前として持っていた自然・人が共存した豊かな暮らしを

たんじゅん農法

自然に優しい循環型農業の実践
土を育てて無肥料・無農薬の野菜作り
自然から知恵を授かりいかしていく
人は微生物のお世話がかかり

<https://www.youtube.com/watch?v=NHdCDKyP6w8>

<https://www.youtube.com/watch?v=LOMaAqQxaU8>

- ・ 土を育てる（発酵する土作り）
- ・ 自然を観察し畑に活かす（自然基準 or 人基準？）
- ・ 種を取って命の循環をめぐらせる（種を守る。種を知ることはその植物の性質を理解すること）
- ・ 土壌の微生物を育てると野菜は自然にできる
- ・ コンパニオンプランティング（多種多様な植物の混植、畑の多様性）
- ・ 旬なものを作る（身土不二）
- ・ 微生物も野菜も人も多様性が命（命のピラミッド）
- ・ 無農薬でも虫のつかないおいしい野菜が作れる！
- ・ 地球に優しい♡

Confidential

パーマカルチャー

永続可能な農的暮らし（農と文化）

個々が生きる力を養う（そして役割分担）

自然が本来持っている多様性、豊かな生産性を取り戻す

人の生活も精神的に豊かで持続可能な環境や社会を

世界中を食べれる森へ

https://www.youtube.com/watch?v=HM_Q9SFIBVA

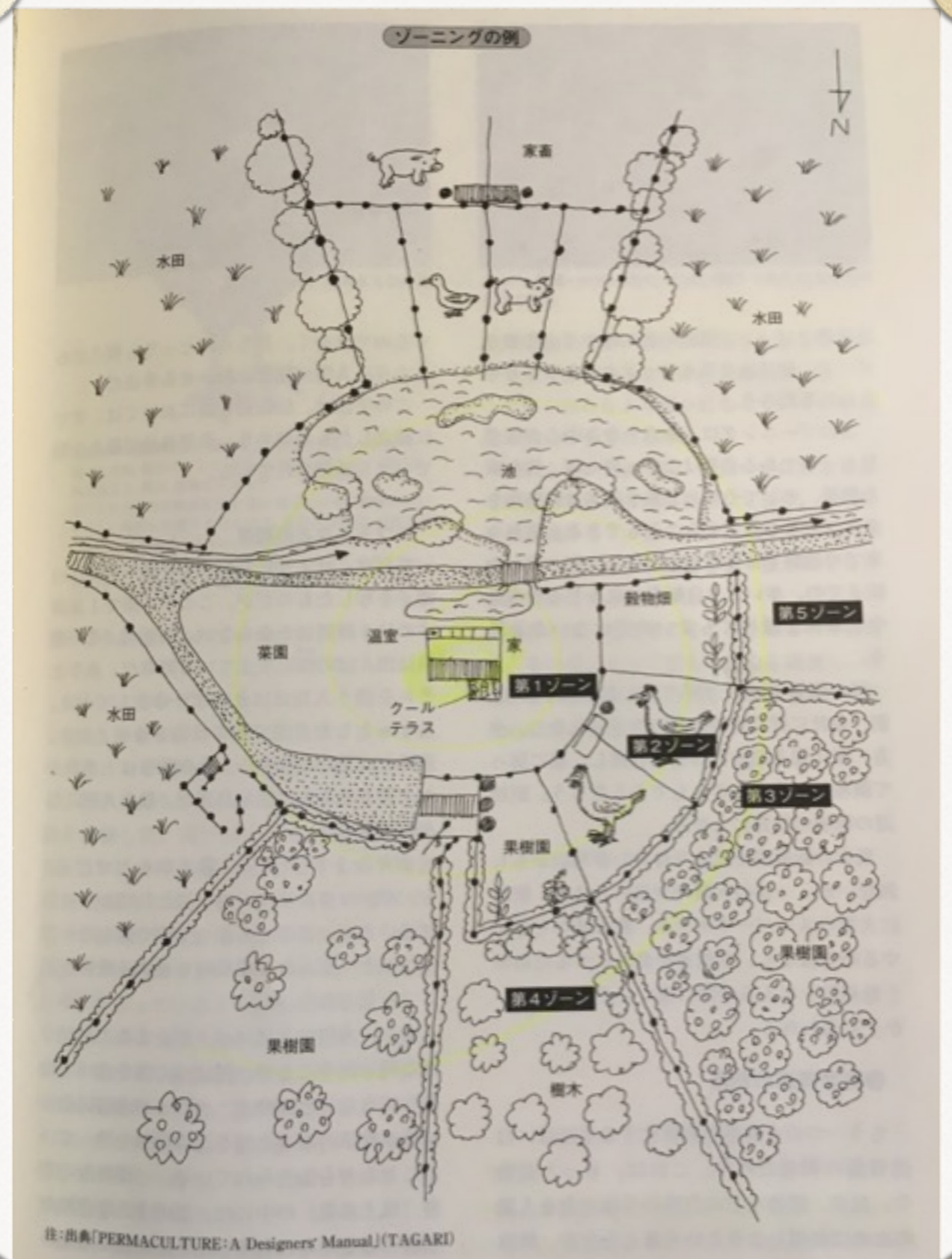
- ・ 自然の永続可能な仕組みを学び取る
- ・ 持続的な農業、持続的な文化
- ・ 土地をデザインし、自然に循環する仕組みづくり
- ・ 土壌生物や植物の性質を知って農にいかす
- ・ 食料・エネルギー・医療（衣料）の自給
- ・ 身の周りのものや環境をDIY(Do it yourself)していく👉百姓になろう！
- ・ 自然観察（土地の声を聴く、森を見る、風景を見る、時間を追って見る）



パーマカルチャーデザイン

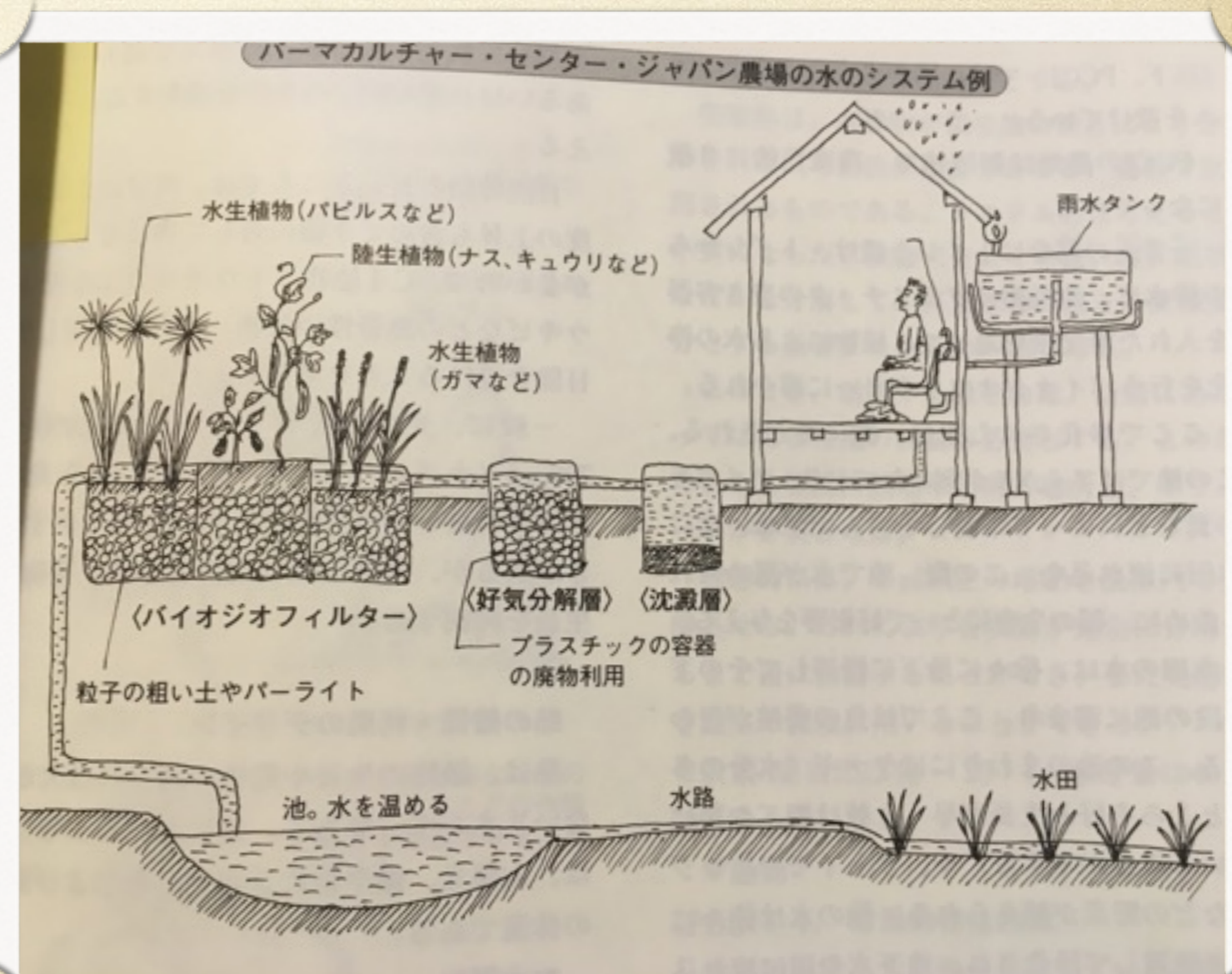
ゾーニング (区分け)

- 人間から自然に向けて、グラデーショナルな土地利用を行うこと
- 人間が最も時間を多く過ごす場所を中心とし、人間の立ち入ることがない自然のままの場を周縁として、その間を人間の介入土を基準にゾーン分けしていく手法



システムデザイン

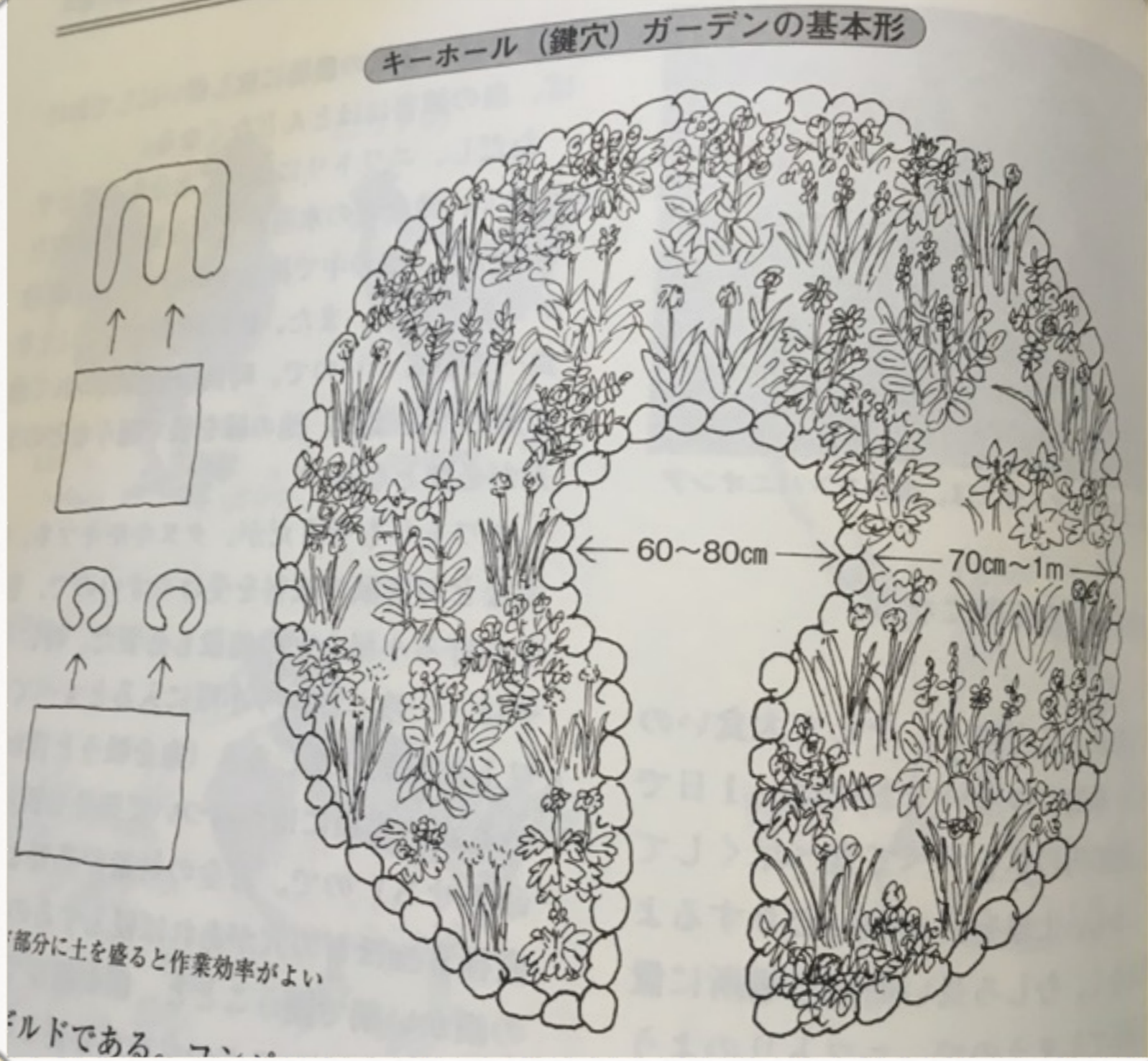
- 畑において主に考慮すべきエネルギーは、水・光・熱・栄養・動物・植物の6点である
- これらをどこで取り入れ、どのように利用し、そして排出するかがシステムデザインであり、このデザインによって生産性や労力、環境に対する負荷が大きく変わってくる
- 動物については、その修正や特徴を理解し、植物や他の動物と関連づけるシステムをデザインする
- 植物については、コンパニオンプランツの考え方にに基づき様々なギルドを作る



水のストックを増やす、光のデザイン、熱の確保・利用のデザイン、etc...

キーホールガーデン

- キーホール（鍵穴）
川などの水の流れの瀬、特に大きな岩の後ろなどにはムズに挟られたようなキーホールが見られる。このキーホール型には多くのエネルギーが集まる。
- 円形のベッド（植床）にキーホールを穿つ形になる
- 直径1～1.5mほどでキーホールの丸い部分が中央に来るようにする
- この形をとることにより、苗を植えたり収穫したりすることが容易となる



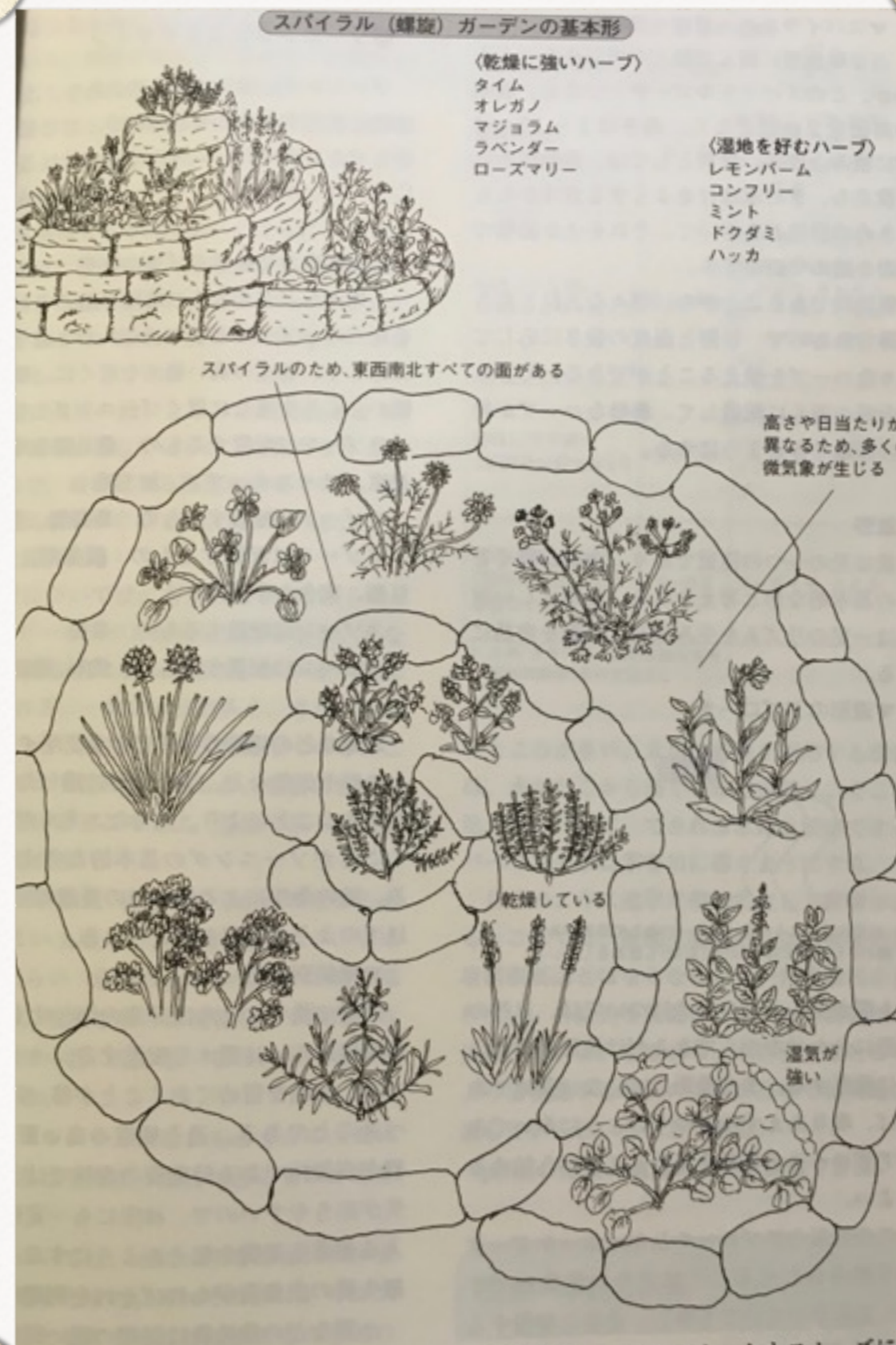
キーホールガーデン

- キーホール（鍵穴）
川などの水の流れの瀬、特に大きな岩の後ろなどにはムズに挟られたようなキーホールが見られる。このキーホール型には多くのエネルギーが集まる。
- 円形のベッド（植床）にキーホールを穿つ形になる
- 直径1～1.5mほどでキーホールの丸い部分が中央に来るようにする
- この形をとることにより、苗を植えたり収穫したりすることが容易となる



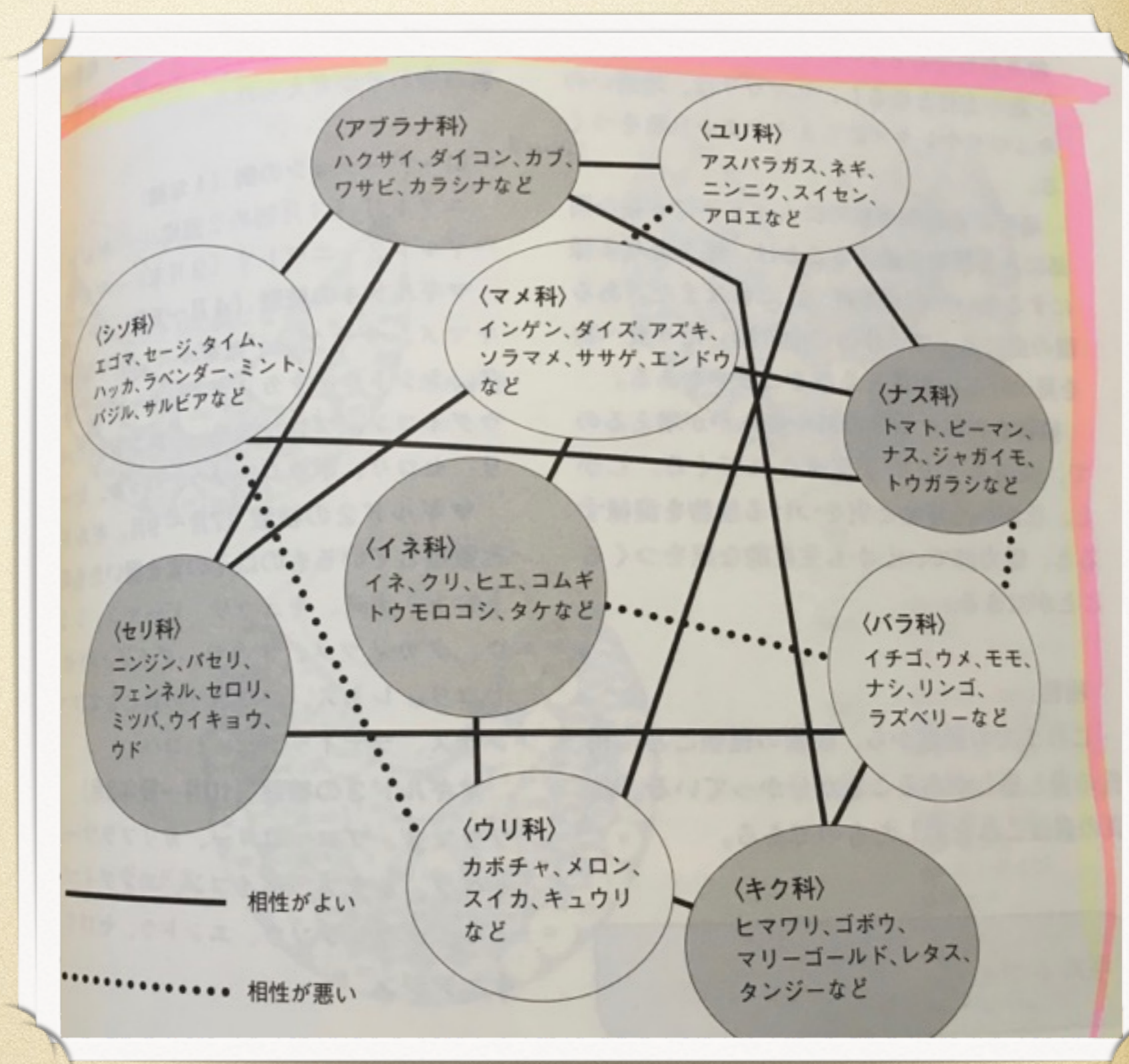
スパイラルガーデン

- スパイラル（螺旋）
最もよく見られるパターンであり、水や風が最もスムーズに流れる形と考えられる
- 石を螺旋系に積んで様々な微気象を作る
- 底面の直径を2mほどにし、高さは1～1.2mほどに積み上げる。
- 材料としては、蓄熱体として役立ち、また水はけを良くする意味からも大きめの自然石を用いて、それを漆喰で隙間を埋めて固定する
- 螺旋系であることから様々な方位と高さが得られるので、日照と湿度の強さに応じて様々なハーブを植えることができる



コンパニオンプランティング

- ある特定の目的（たいていは害虫駆除）のために2種類以上の植物を組み合わせる手法
- 例えば、いつも害虫の被害を受けている植物については、その害虫からかくまったり害虫を追い払ったり、あるいは罨にかけたりするコンパニオンが考えられる
- 光やねの伸びる場所がかち合わないので一緒にしておいても良く育つ植物の組み合わせもある

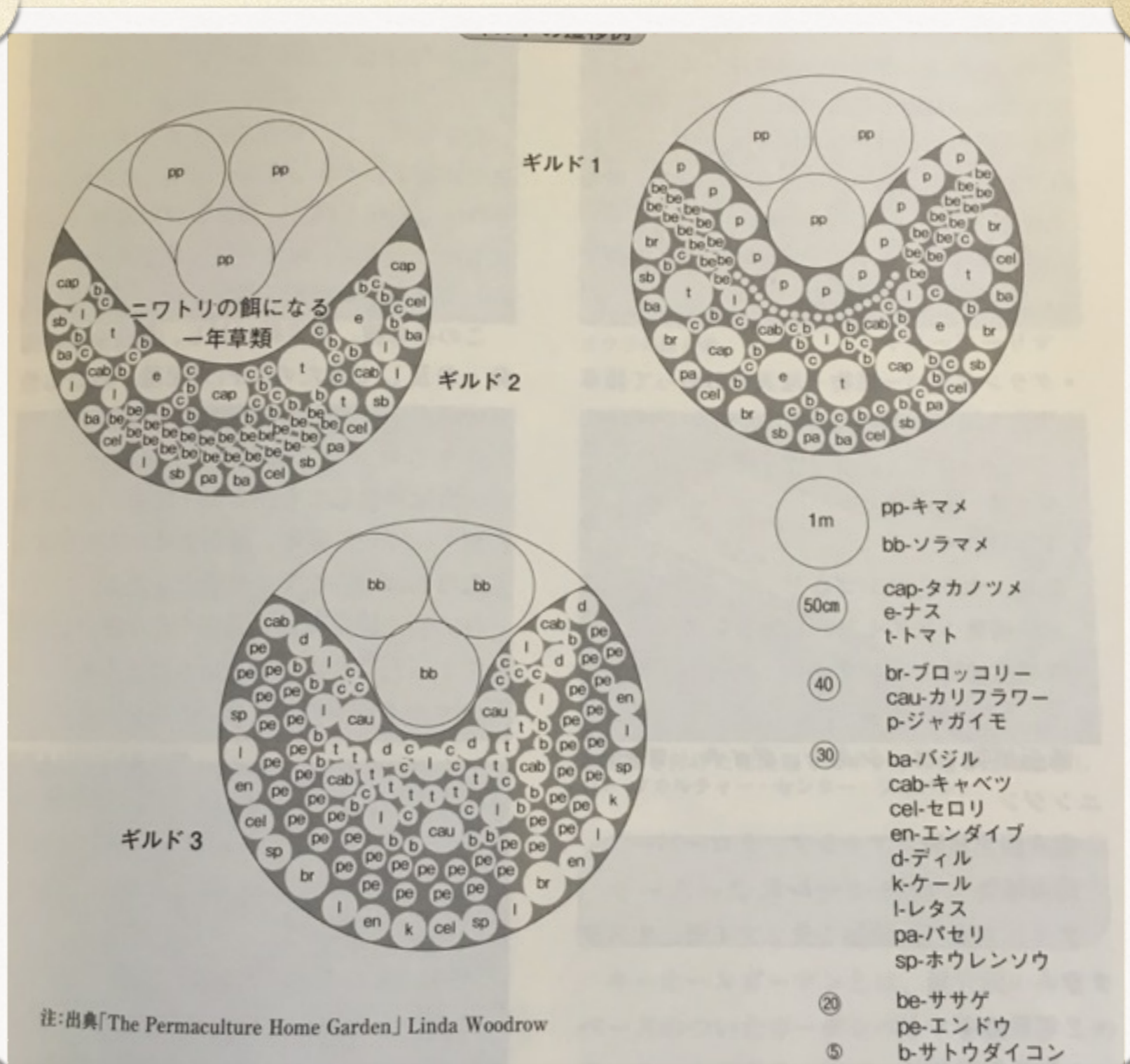


ギルド

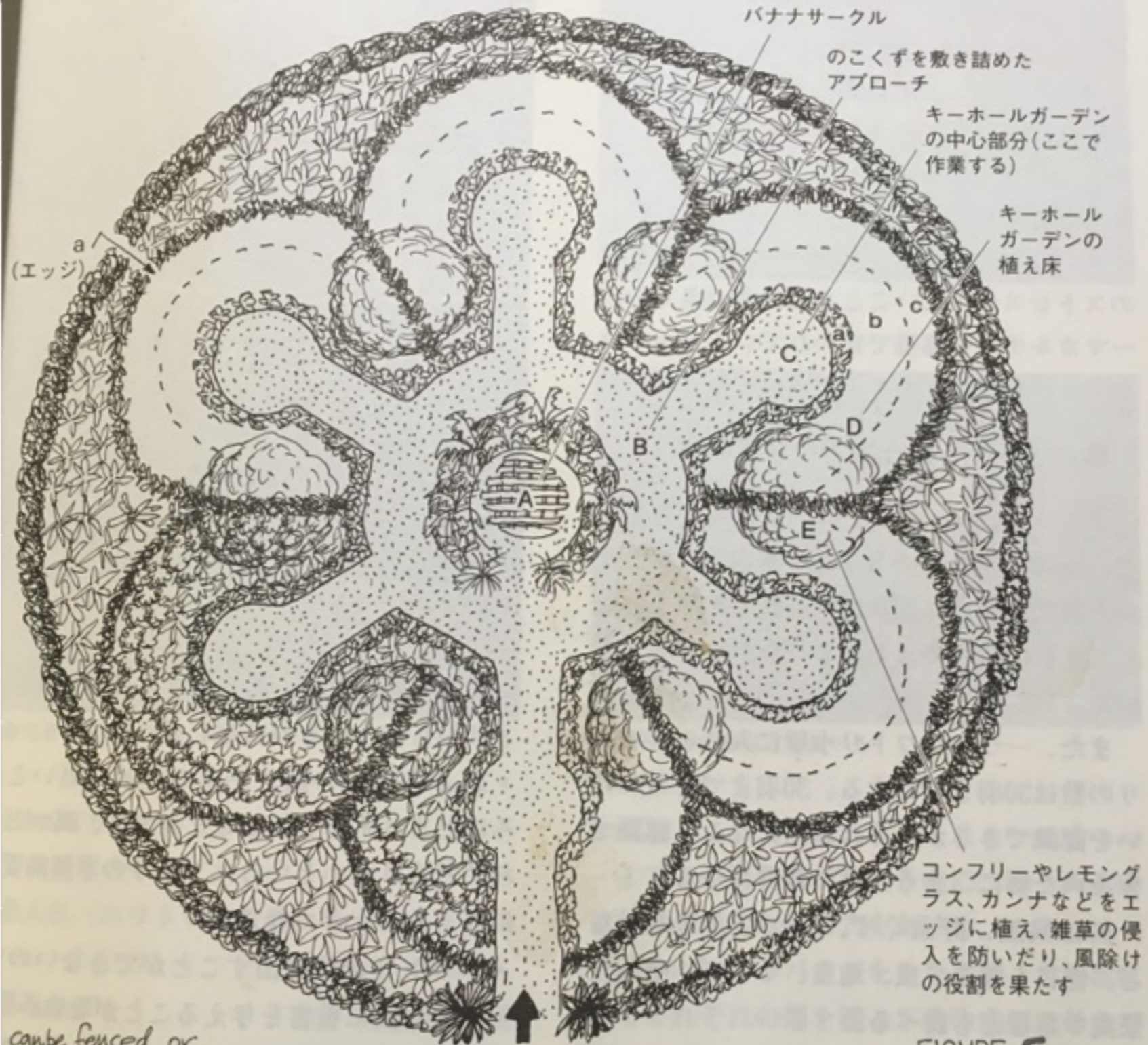
- コンパニオンプランツの考え方を活かした、相性の良い植物により構成された植物群のこと

- 例

- 一年草類中心のギルド (畑のギルド)
- 樹木中心のギルド
- 果樹中心のギルド



マンダラガーデン



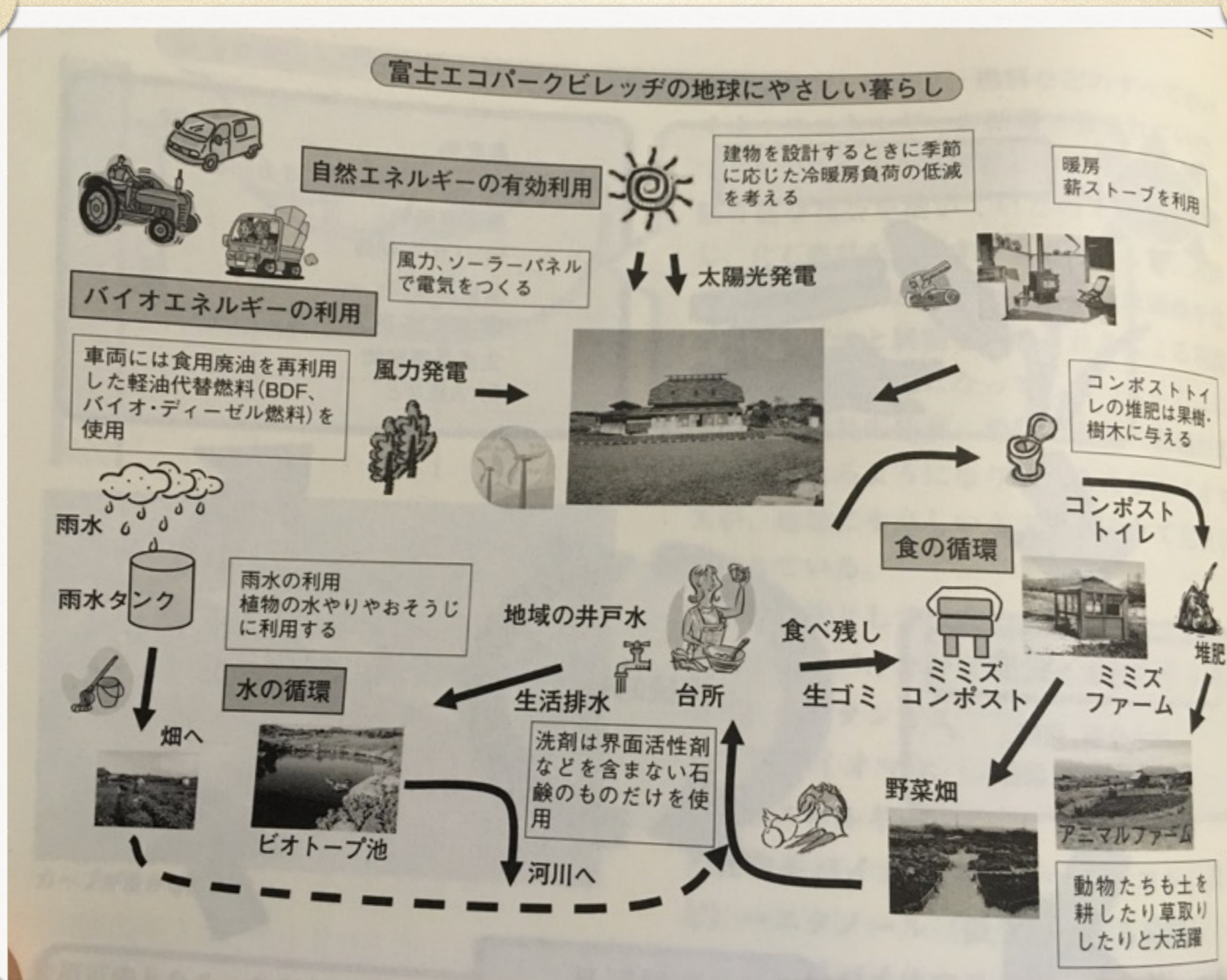
コンフリーやレモング
 ラス、カンナなどをエ
 ヅジに植え、雑草の侵
 入を防いだり、風除け
 の役割を果たす

FIGURE 5

チキントラクター



パーマカルチャー実用例 富士エコパークビレッヂ



コミュニティ

人と人がつながりめぐりあう

共に学べる

新しいモノ・コトが生まれる

多様性を認めあえ広がる

食で美味しく広がる

- 全ては人から学ぶことばかり
- 共感・シェアから学ぶ
- アイデアは無限！？
- それぞれが「得意」・「好き」をいかす
- 美味しくつながる・食べてつながる（感動・共感の輪）
- 人のつながりでなんでもできる！？ 想いを口にしよう！

園内イメージ (ハード)



田んぼ



井戸&休憩所



果樹園



ハーブ園&お花畑



エントランス&コミュニティスペース



畑



園内レイアウト例



ゾーニングのコンセプト

～Beyond 2020（2020年のその先へ）～

全体のコンセプト：近未来の茅ヶ崎をイメージ

里山から海まで。海も山も川も田畑もある茅ヶ崎全体をここに集約してみました。

茅ヶ崎の北東に湧き水として始まり、市内を縦横に跨ぎ最後は南西の相模川河口に合流する小出川。

その川の流域ごとに上流から河口（海）まで4つのゾーンに分け、「衣」・「食」・「住」・「エネルギー」と、それぞれの役割・機能を持たせます。全体の完成目標を2020年として皆で楽しみながら創り上げ、その先は実際の茅ヶ崎のまちづくりにも反映させていきたいという思いを乗せていきたいと願い、ここにコンセプトを作成しました。



・ゾーン1 海岸線

エントランスは茅ヶ崎のイメージである海をモチーフに、海岸線をイメージして構成。砂浜を造形し、貝殻や流木、海藻などの配置して海の雰囲気を作り出す。

将来的には海水から塩を炊き出すための塩釜を作成したい。

・ゾーン2 生活圏（住）

実際に生活するエリアを想定。

コミュニティスペース（住居）を中心にチキンドームやコンポスト、トイレなどを配置し、周辺には家庭菜園（個人用区画）やハーブ・フラワーエリアなどで構成して生活に即した場作りをする。

アースバッグハウスや葡萄棚、BBQスペースなどを作り、人が集う場所にしていきたい。

・ゾーン3 衣・食

ここでは市民が身にまとうものや食すものを作りだすエリアであり、野菜だけではなく、田んぼ、綿花、大豆、麦などの衣食の基本として必要なものを栽培するエリア。広大なマンダラガーデン（共有畑）を中心に「農」をテーマにしたエリア。

・ゾーン4 里山（エネルギー）

最上流には山があり、そして川の源流があり、果樹などの木々が茂っています。将来的には果樹の恵みだけではなく、バイオマスや水車、風力などのエネルギーを産出する場としていきたい。

チップや土を盛って山を造り、井戸を掘り、恵みの源である川の源

そこにソフトである「ヒト・モノ・コト」を



収穫体験



農業学習・実践



食育・料理教室



DIY



デザイン



コミュニティ&コラボレーション

各種イベント、講習会、勉強会、体験会等（プラン）

- ・ パーマカルチャー入門
- ・ たんじゅん農法勉強会（土作り・栽培技術等）
- ・ DIY講習会（農業資材、椅子、小屋、コンポストトイレ、他）
- ・ 大豆、麦、おイモ、お米、フルーツなど収穫体験と調理体験
- ・ 味噌・醤油作り、ワラ縄作り、料理教室など
- ・ キッチンカー、キャンピングカー体験
- ・ 音楽イベント
- ・ などなど…
- ・ みなさんのアイデアで様々なイベントを作りましょう！

めぐる・つながる・ひろがる

半農半Xのライフスタイル

自然環境保全

健康な生活

無農薬栽培

種を守る

自然との共生

人とのつながり

Edible Park
茅ヶ崎

DIY

食の安心・安全

異業種間交流

イベント

食育

循環型社会

ヒト・モノ・コトの多様性

身土不二

広がるコミュニティ

ゼロからのスタートです。

一緒にデザインして楽しい空間をつくっていきましょう！！

